

道徳科との関連

「特別の教科 道徳」と特に関連するページには、道徳マークと内容項目に対応した文章を示し、生徒の意識を促しながら、関連を図った学習ができるように配慮しました。

自分自身に関すること

掲載箇所
3点



2・3下p.8-11「今を生きる私へ」

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しよう。

集団や社会との関わりに関すること

掲載箇所
12点



1p.22-23「墨と水の出会い」

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しよう。

人物を表すことは、表す人をよく理解するとともに、その人に対する自分自身の気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を見つめ、その人へのあなたの気持ちまで表せるように形や色彩、表現方法を工夫しましょう。

18 注1 注2 注3 注4 注5 注6 注7 注8 注9 注10 注11 注12 注13 注14 注15 注16 注17 注18 注19 注20 注21 注22 注23 注24 注25 注26 注27 注28 注29 注30 注31 注32 注33 注34 注35 注36 注37 注38 注39 注40 注41 注42 注43 注44 注45 注46 注47 注48 注49 注50 注51 注52 注53 注54 注55 注56 注57 注58 注59 注60 注61 注62 注63 注64 注65 注66 注67 注68 注69 注70 注71 注72 注73 注74 注75 注76 注77 注78 注79 注80 注81 注82 注83 注84 注85 注86 注87 注88 注89 注90 注91 注92 注93 注94 注95 注96 注97 注98 注99 注100

1p.18-19「人間っておもしろい」



道徳マーク

人との関わりに関すること

掲載箇所
5点



2・3下p.14-15「仲間との交流の中から」

それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、謙虚に他者に学ぼう。

生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

掲載箇所
6点



2・3上p.34-35「季節を楽しむ心」

自然を愛護する心を持とう。

道徳マークと、特別の教科 道徳の内容項目との対応

学年	頁	題材名	特別の教科 道徳の内容項目	対応についての概要
1	18-19	人間っておもしろい	B 思いやり,感謝	家族や友人など,身近な人々を表す活動です。
	22-23	墨と水の出会い	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	水の量や筆の動かし方を工夫しながら,墨での表現を味わう活動です。
	28-29	美のタイムトラベル	D 感動,畏敬の念	原始美術の造形的なよさや美しさを鑑賞する活動です。
	30-31	絵の中をよく見ると	B 相互理解,寛容	絵画に描かれた人や情景などから,作者の意図や工夫を読み取り,自らの考えを友だちと意見交換する活動です。
	50-51	暮らしの中の木の工芸	D 自然愛護	木の特性を考えて使うものをつくる活動です。
	54-55	自然の美しさから生まれた	D 感動,畏敬の念	自然物の形から発想を得たデザインを鑑賞する活動です。
	56-57	祭りを彩る造形	C 郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度	日本やアジアの祭りの造形物を鑑賞する活動です。
2・3上	14-15	動き出しそうな 動物たち	D 生命の尊さ	動物の特徴を捉えて立体で表現する活動です。
	20-21	水と筆を操る	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	墨の技法を使って表現する活動です。
	30-31	文化の出会いがもたらしたもの	C 国際理解,国際貢献	浮世絵など日本美術の表現が,西洋美術に与えた影響を考える活動です。
	32-33	手から手へ受け継ぐ	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	つくり手の思いを感じながら,伝統工芸品を味わう活動です。
	34-35	季節を楽しむ心	D 自然愛護	日本の美意識について考え,季節を表すものをつくる活動です。
	42-43	つくって使って味わう工芸	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	さまざまな材料や技法を使って,使うものをつくる活動です。
	44-45	暮らしやすさのデザイン	B 思いやり,感謝	誰にでも使いやすいデザインを考える活動です。
	46-47	デザインで人生を豊かに	C 社会参画,公共の精神	現代社会における貧困や障がいなどの,課題を解決するデザインについて考える活動です。
48-49	憩いを生み出す場所	D 自然愛護	自然や環境に調和した空間について鑑賞する活動です。	
2・3下	8-11	今を生きる私へ	A 向上心,個性の伸長	自分の内面を表現する自画像の活動です。
	14-15	仲間との交流の中から	B 相互理解,寛容	他者と関わりながら共同制作に取り組む活動です。
	22-23	ルネサンスが目指したもの	A 真理の追究,創造	ルネサンスの作品を鑑賞する活動です。
	24-29	あの日を忘れない	A 希望と勇氣,克己と強い意志 C 国際理解,国際貢献	自然災害や戦争の惨劇などから生まれた作品で,美術のおよぼす力について考える活動です。
	30-31	仏像に宿る心	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	仏像に込められた意味や願いを考える活動です。
	32-33	どこまで修復すべきか	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	文化財の修復について考える活動です。
	42-43	心がほっと ながむもの	B 思いやり,感謝	使用する場所や使う人の気持ちを考えてつくる活動です。
	44-45	人が生きる社会と未来	C 社会参画,公共の精神	これからの社会にふさわしい環境について考える活動です。
	46-47	笑顔が生まれる鉄道デザイン	C 我が国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度	地域や使う人を考えた鉄道のデザインを鑑賞する活動です。

道徳との関連が分かりやすく示されています。

美術科は心豊かな生活を創造していくものであり、学習自体が道徳教育と深く結び付いています。授業では、**美術の学びの深まりが道徳性を養うという意識と積極的な関わりが大事**になってきます。本教科書では、道徳マークと適切な分量の関連する内容の言葉がページ下部に設けられ、価値観の押し付けではない、**さり気なく心に残る示し方**になっています。

道徳教育に関する校閲者

しまつね お島恒生 先生 (畿央大学大学院教授)

